

地域で暮らし続けるための仕組みづくり

～おおとう元気会議～



平成25年9月5日

五條市地域包括支援センター

井筒由佳理

おおとう元気会議のきっかけ



きっかけ①

「山間地域に必要なサービスのあり方について」の意見交換会が五條市大塔町で開催される

きっかけ②

奈良県立大学 地域創造学部 古山准教授に出会える

きっかけ③

「市と郵便局の連携会議」⇒五條市と五條市内郵便局との相互連携協定が結ばれる

「おおとう元気会議」の概要



取組の経緯

- ・奈良県立大学地域創造学部 古山准教授に協力を依頼
- ・平成24年10月 第1回地域検討会(仮称)
- ・平成25年2月 第2回地域検討会
検討会メンバー: 大塔町自治連合会 ・大塔地区民生児童連絡協議会
 - ・大塔町福祉ふれあいの会 ・(財)大塔ふる里センター
 - ・郵便局 ・五條市社会福祉協議会・奈良県吉野保健所
 - ・奈良県長寿社会課・五條市大塔診療所・五條市大塔支所など13の団体・事業所、県・市の関係機関が集まりました。
- ・生活アンケート調査の実施(平成24年11月～12月)
40歳以上の大塔町民338名(平成24年9月1日現在)の内、入院・入所者、市外居住者を除く265名を対象に、訪問による聞き取り調査
- ・平成25年4月 第1回おおとう元気会議
平成25年度からは、五條市消防署大塔分署が加わる。

～これまでの取組1～



◆ご近所見守りの仕組み

- 普段の生活の中で、さりげない見守り
(ボランティアグループ 大塔町福祉ふれあいの会)
- あいさつ運動で見守り(郵便局)
- 防火防災訪問で見守り(消防 大塔分署)
- 生活支援サービスで見守り
(民間事業所 (財)大塔ふる里センター)

～これまでの取組2～



◆生活支援サービス

①災害後の取組

- ・まわるくん（注文を受けた品物をお買い物
自宅にお届け）
- ・村のコンビニ(ふれあい交流館に日用品など
を取り扱うお店がオープン)

②おおとう元気会議開催以降の取組

- ・週2回の配食サービス((財)大塔ふる里センター)
- ・お買い物ものバスツアー(大塔支所・NPO法人)

～これまでの取組3～



◆おおとう元気会議通信の発行

「おおとう元気会議」で話し合った内容や活動については、会議終了後、大塔町民の方々に情報提供の1つとして「おおとう元気通信」を発行(A4サイズ両面)しています。

おおとう元気会議通信(創刊号)

災害から約1年半、大塔町の人々の生活が戻る中「この五條市大塔町で住んでいてよかった」と思える地域にするためには、どのようにしたらいいのかわかるか?

五條市地域包括支援センターは、関係機関と連携し地域の方々と共に「地域で暮らし続けるための仕組みづくり」を考え実行するために、昨年10月仮称「地域検討会」を開催、今年4月からは「おおとう元気会議」と名づけ仕組みづくりを進めることになりました。

【第一弾】ご近所見守りの仕組み

(一)大塔福祉ふれあいの会の活動

普段の生活の中で、身近な方をさりげなく見守り!



(二)郵便局の活動

“あいさつ運動” 配達員の方が「おはようございます」「こんにちは」などのお声かけ! 外交員の方が、訪問時にちょっぴりお話し相手に…

(三)消防署(大塔分署)の活動

“地域の方々と顔見知りの関係づくり” 平成25年度中に全世帯を対象に「防火防災訪問」を行う予定です。

例えば、住宅火災警報器の設置状況や救急キットの確認などをさせていただきます。

(四)財団法人 大塔ふる里センターの活動

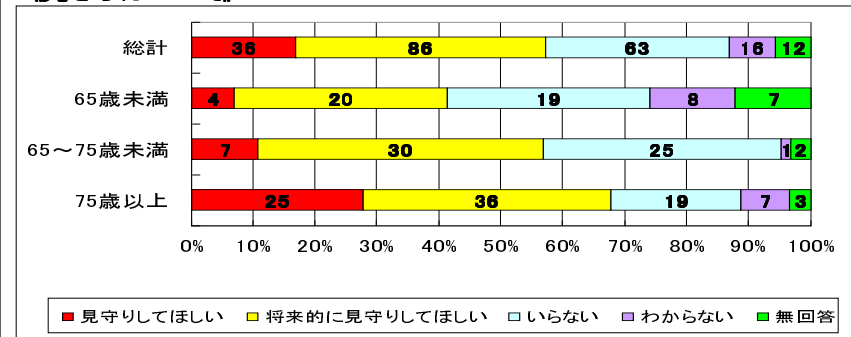
お買い物支援「まわるくん」をご利用のお宅を、配達時に見守り!

～ご協力ありがとうございました～

昨年11月から12月にアンケート調査のため訪問させていただきました。町民の皆さまには、快く受け入れていただき暮らし続けるための悩みや困りごとなどを聞かせていただくことができました。ありがとうございました。

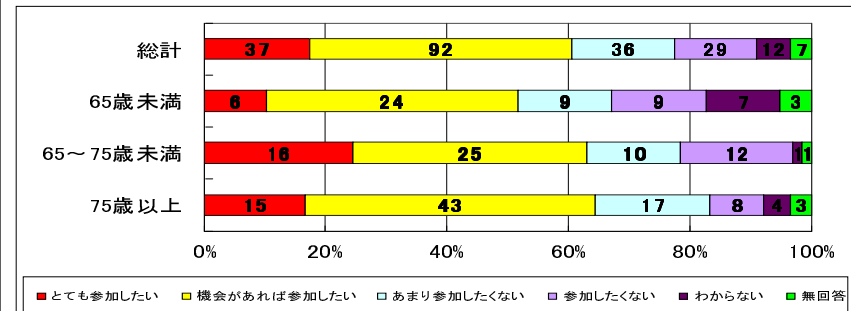
「大塔町生活アンケートの結果」から わかったこと Part1

《見守りについて》



半数以上の方が「見守りしてほしい」「将来的に見守りしてほしい」と思われています。特に75歳以上の方は、7割近くの方がそのような思われています。

《住民同士の交流の機会について》



住民同士の交流の機会には、約6割の方が参加したいと思われています。

【ご意見・お問合せ】 五條市地域包括支援センター
TEL 22-4001 (内線309) または25-2640 (直通)

「おおとう元気会議」がめざす 地域で暮らし続けるための仕組みづくり

